

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人 最上川リバーツーリズムネットワーク		
事業名	水を通じた環境啓発活動		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：山形県自動車販売店リサイクルセンター 山形から発進！未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	長井市	事業費	484,989 円
		うち助成金額	450,000 円



ウォーターインタープリター（水の案内人）養成講座



第6回野川水源地域フォトコンテスト（表彰式）

■事業目的

長井市は古くから水との関わりが深いが、地域資源ともいえる水源地域やまちの魅力に気づかずに暮らす人が多く、活かしきれていない現状がある。そこで、フォトコンテストを通じて水源地域やまちの魅力を発信するとともに、水に特化した講座を展開することで、広く関心を高め持続可能な環境保全への啓発を図ることを目的とする。

■事業内容

①ウォーターインタープリター（水の案内人）養成講座

実施期間：1月～2月  
（計8日間）

本講座は、水について様々な知識と実習からなるカリキュラムを準備した我が国初の養成講座であり、平成24年から毎年取組み、今年で8回目の講座となった。一般の方を対象に1月～2月の期間中、座学・実習など1時限90分か

らなる講座を16時限（1,440分）受講した人に水の案内人修了証書を授与した。

②第6回野川水源地域フォトコンテスト

応募期間：1月～11月末  
審査委員会：12月17日（水）  
（審査委員：5名）  
表彰式：1月22日（水）  
展示期間：1月～3月  
（野川まなび館）

フォトコンテストでは、長井市内で撮影した写真、水に関係する写真の2点を条件に作品を募集し、県内外から51点の応募作品が集まった。市内のあらゆる景観に目を向けた作品が応募され、撮影技術の向上やドローン撮影等により、普段では見ることができない地域の魅力発見に大いに繋がった。また、フォトコンテスト表彰式の後、全応募作品を野川まなび館に展示し、広く地域の魅力発信に繋がった。

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

フォトコンテストと講座を展開することで、水に対する関心の入り口を広げそれぞれに合った関わり方を提供することができた。また、あらゆる角度から地域資源を知り、知識を深めることで広く地域の適正なる保全と地域活性化に繋がった。

②今後の展望

フォトコンテストの参加者は県外まで広がっている。また、ウォーターインタープリターも内容が豊富で充実しており受講希望者が多い反面、1,440分という時間的制約から都合がつかず断念している人も見受けられる。しかし、内容を削ることなく今後も何とか継続していくことで、事業を広く周知させ、更なる人材育成と地域活性化に繋がっていききたい。